



見守りを兼ね、弁当配達

口和自治振興区 配食サービス事業・7/18

No.5

口和自治振興区では、口和地域の調理困難な高齢者世帯や一人暮らしの高齢者などを対象に、月に1回、見守りを兼ねて手作り弁当を配達しています。この弁当は、同自治振興区の配食サービス事業部の方が栄養バランスを考えながら旬の地元野菜を使って作り、各自治会の環境政策部の方が配達しています。

配食サービス事業部の皆さんは、サービスを利用している方においしく食べてもらうために、心を込めて弁当を作っていました。

弁当を受け取った方は、「とてもおいしい弁当をいつもありがとうございます」と話していました。



▲手際よく弁当が作られた

親子で楽しむ初夏の夕べ

ほたる見会・6/15

No.7

総領保育所で、音楽とほたるを鑑賞する「ほたる見会」が開催され、園児・保護者約50人が参加しました。

コンサートでは、市内在住の増永香寿美さんと重政有未さんによるアルトサックスデュオの演奏が行われました。「魔女の宅急便」や「となりのトトロ」など、なじみの曲が演奏され、参加者は歌を口ずさんだり、手拍子をしたりし、会場は大いに盛り上がりしました。

また、当日は、あいにくの雨模様でしたが、「ほたる見会」開始の夕刻には雨もやみ、コンサート後のホタル探しの散策では、優雅に飛び交うホタルを鑑賞し、親子で初夏のひとときを楽しみました。



▲コンサートではアルトサックスデュオの演奏が行われた

スポーツを通じて地域交流

地域ふれあいソフトボール大会・7/10

No.4

地域ふれあいソフトボールナイターリーグ戦が開幕しました。この大会は庄原市体育協会高野支部などが主催し、スポーツを通じてコミュニティを促進し、魅力ある町づくりをすることを目的に開催されます。自治会ごとの10チームが参加し、3ブロックに分かれて行うリーグ戦、勝ち上がりチームによる決勝トーナメントと続き、約1カ月にわたり熱い戦いを繰り広げます。

開会式のあったこの日は心地よい夜風が吹く中、リーグ戦2試合が行われ歓声が響いていました。

参加した柳原さおりさんは「敵・味方に分かれていてもお互いを励まし合い、勝ち負け関係無く笑顔になれるところが良い」と話していました。



▲ねらいを定めて…

子育て支援の輪を広げる

東城スマイル子どもまつり・6/24

No.6

東城自治振興センターと東城文化ホールで、「東城スマイル子どもまつり」が開催され、約500人が参加しました。この祭りは、子育て支援の輪を広げていくことを目的に、平成28年から開催されています。

オープニングを飾ったのは、町内の保育所とこども園の年長児の歌と体操です。ヒバゴンなどのキャラクターも登場して会場いっぱいに笑顔が広がりました。また、子育てを支援するさまざまな団体などによる、うどん、カレー、手作りパンなどの飲食コーナーや、子ども服などのリサイクルバザー、輪投げやボールプール、バルーンアートのプレゼントコーナーなど、いろいろな催しもあり、子育てにおける地域の輪を身近に感じる祭りになりました。



▲子どもたちはステージ上で元気に歌った

来訪者の増加を目指して

山たびセミナー 2018 in 庄原市・7/12

No.1

比婆道後帝釈国定公園連携事業実行委員会は、本国定公園の魅力をも再発見し来訪者の増加と満足度向上を図るため、関係者を集めてセミナーを開催しました。

セミナーでは、比婆山伝説ガイド「ツイハラの会」が案内する熊野神社トレッキングや、庄原の新ご当地グルメ「庄原やさい寿司御膳」のランチ、スマートフォンで簡単に山の情報収集ができる便利な登山アプリ「YAMAP」についての講座などが行われ、参加者は熱心に受講していました。

奥出雲町からの参加者は「熊野神社の魅力を学べたし、庄原やさい寿司御膳はとてもおいしかった。次回のセミナーもまた来てみたい」と話していました。



▲ツイハラの会による熊野神社トレッキング

社会に貢献する心を育む

小・中学生がクリーン活動実施・6/7

No.3

比和小学校の3～6年生と比和中学校の生徒が、保護者・教職員と一緒にクリーン活動を行いました。町内を歩きながらごみ拾いや草集めをしたり、橋の欄干を雑巾で拭いたりするなど、自分たちの住む町をきれいにしようと、毎年協力して活動しています。

前日までが悪天候だったこともあり、落ち葉やごみがいつも以上に多く、さらに当日は気温や湿度が高かったため、参加者は体調に気を付けながら一生懸命清掃を行っていました。

一緒に参加していた保護者の一人は「この活動を通して、これから子どもたちが社会に貢献するということを少しでも意識していってけるとうれしい」と話していました。



▲一生懸命草を集めた

つながりが生まれる場所へ

廃校リノベーションの過程・6/11

No.2

八鉾自治振興センター（旧小鳥原小学校）で、広島県から八鉾自治振興区へ、廃校リノベーションの過程などを紹介したパネルが受け渡されました。

廃校リノベーションは、昨年度開催された「ひろしまとやま未来博2017」で、世界的建築家・隈研吾さんの監修のもと、廃校になった小学校などを新たなつながりが生まれる場所として復活させたプロジェクトです。これによりウッドデッキが設置されたほか、2階の部屋に竹すだれを使ったデザインが施されました。

また同日、意見交換会が行われ、今後の活用計画についての前向きな提案がなされました。同自治振興区の定木丈宣会長は「八鉾自治振興センターを人が集まる施設にしていきたい」と話していました。



▲広島県中山間地域振興部木村富美部長（右端）からパネルが贈られた



「住宅デー」で修繕ボランティア

広島県建設労働組合第12地域連合庄原が奉仕活動・6/25

No.8

全国統一「住宅デー」の6月25日を中心に、市内各地で広島県建設労働組合による技術奉仕活動が行われました。この活動は、同組合第12地域連合庄原が組合員の仕事や技術を知ってもらい、地域の安全・安心に貢献しようと取り組むものです。

14人の組合員が訪れた山内保育所と板橋子育て支援センターでは、日よけ棚の修繕・塗装、柵の作製や壁の修繕が、また、7人の組合員が訪れた比和保育所では掲示板や、すのこの作製などが行われました。

山内保育所の名越敦子所長は、「日よけ棚の塗装や送迎の通路に柵を作ってもらい、子どもたちの過ごす環境が良くなった。とても助かりました」と感謝していました。



▲広島県建設労働組合第12地域連合庄原の皆さん



▲修繕と塗装された日よけ棚

体験を通して学ぶ

本物の舞台芸術体験事業・7/2

No.10

庄原市民会館で広島交響楽団（指揮：直井大輔^{なおいだいすけ}さん）のオーケストラ音楽鑑賞教室が開催されました。本物の舞台芸術体験事業は、次代を担う子どもたちに、本物の舞台芸術に接する機会を提供し、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養うために行う事業で、毎年度、市内小学5・6年生を対象に舞台芸術の体験を行っています。

本年度は、19校の児童と引率教員の672人が、オーケストラの演奏に合わせて元気いっぱいに歌ったり、指揮者を体験したりするなど、オーケストラの素晴らしさや音楽の楽しさを実感しました。指揮者体験した児童は「緊張した」「楽しかった」など、元気よく感想を話してくれました。



▲オーケストラの演奏に合わせて合唱

知識と礼式を身に付ける

平成30年度庄原市消防団幹部訓練・7/1

No.9

庄原市高野スポーツ広場で、庄原市消防団の幹部訓練が行われました。この訓練は、部長以上の階級を対象に、消防団幹部としての確実軽快な動作と厳正な態度を身につけるため、庄原市小型ポンプ操法競技大会開催年を除き毎年実施するものです。

訓練には、各方面隊約140人が参加し、本市消防団所属の県委嘱訓練指導員による指導のもと、各個訓練、部隊訓練などを約3時間行い、団員個人や部隊での動作を確認しました。

訓練終了後の講評で、備北地区消防組合東城消防署の板倉恒憲^{いらくのり}署長は、「今後災害の多い時季になる。引き続き高い意識を持って消防活動に取り組んでもらいたい」と話しました。



▲各個訓練の様子